

# 暮らし



## 質問

海外勤務をしている35歳の長男が、昨年11月に一時帰国して受けた会社の健康診断で、胆嚢にポリープが3個見つかりました。本人にポリープの大きさなどは聞いていませんが、特に自覚症状はないそうです。ただ、体重が2年ほど前の58kgから64kgに増え、おなかも出てきました。身長は177.0cmです。単身での海外生活のため、食事は不規則で油物も多いようです。アルコールはほとんど飲みません。健康診断では、様子を見て3~4カ月後に再検査をするよう言われたそうです。3~4カ月後、手遅れになる心配はないでしょうか。がんとの関係や、原因、予防、治療法などについても教えてください。

## 答え

胆嚢は肝臓の下に張り付くように存在する、ナスに似た形の袋状の臓器です。肝臓でつくられた胆汁を濃縮して一時的に貯



木村 哲夫

徳島大学病院  
消化器内科助教

## 胆嚢にポリープ

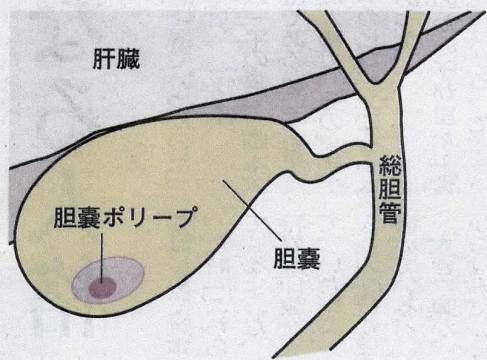
蔵しておく働きをしています。胆嚢ポリープとは、胆嚢の内側(粘膜面)にできた隆起性変化の総称で、これには早期がんを含めた腫瘍性の病変と、コレステロールの沈着や炎症などによって粘膜が盛り上がっただけの非腫瘍性の病変などがあります。

正常な健康成人を対象とした健診の腹部超音波検査で、10~15%の人が胆嚢ポリープを指摘されると言われています。胆嚢ポリープにはさまざまな種類がありますが、健診で指摘されるもののほとんどは、コレステロールポリープと呼ばれるものです。

コレステロールポリープは、胆汁内で脂肪酸と結合したコレ

ステロール(コレステロールエステル)が胆嚢粘膜内に染み込み、沈着して隆起を形成するものです。典型例は、直径5mm以下で多発することが多く、腹部超音波検査を行うと類球形で内部にぶつぶつとした高エコー(白く見える)成分を有するといった所見が見られます。

単発で直径8mm以上のものや、形態がいびつであるなど、コレステロールポリープとして非典型的な所見がある場合は、



肝臓

胆嚢ポリープ

胆嚢

総胆管

質問募集 がんに関する悩みに「徳島がん対策センター」がお答えします。質問内容を詳しく書き、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記し、〒770-8572 徳島新聞社文化部「がん相談」係へ。紙上に住所、氏名、電話番号は掲載しません。同センター(電0898(6663)9438)でも平日午前8時半~午後5時に受け付けています。

超音波内視鏡検査などの精密検査を行う必要はありません。また、良性のポリープですので、これ自体の

質問者の息子さん指摘されたポリープの詳細までは確認できませんが、多発している

ことや、健診胆嚢がんなど治療を要するもの

当医が精密検査ではありませんので、コレステロール

ポリープの可能性が高いと診断

などを考える

と、コレステロールポリープの可能性を

可能性が十分ある

のではないかと

思います。

コレステロールポリープの可能性も考え、手術をお勧めします。胆嚢の手術は、腹腔鏡下手術が広く行われており、腹部に1~2cmの小さな穴を4カ所ほど開けて、内視鏡や鉗子、超音波メスを挿入し、観察しながら手術を行うことができますので、体に対する負担も

少なく済みます。

まずは、おっくうがらずに経過観察の検査をしっかり受けるようにお勧めします。

## 超音波検査で経過観察を

徳島がん対策センター <http://www.toku-gantaisaku.jp/>